

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局	課長名	北里利用
	施策	13	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成		所属課	生涯学習課	担当者名	菅真一郎
	施策の柱	46	歴史・伝統文化(文化財を含む)の保護と継承		所属班	生涯学習班	(内線)	2550
予算科目	会計 一般	款 10	項 5	目 7	事業連番 10923	根拠 法令	成果優先度評価結果	①
							コスト削減優先度評価結果	⑩
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	平成7年度、合志歴史資料館及び西合志郷土資料館完成。それに伴い事業開始。歴史資料館長を1人配置し歴史資料等の収集・保管・管理及び展示を行なっている。文化財保護の啓発および市民の郷土史学習の支援として、ふるさと探訪まちめぐりバスを複数回実施。年に1回合志歴史資料館にて特別展を開催。子ども歴史科学体験教室については、子どもたちの体験活動支援事業として平成16年度開始。郷土の文化財を周知し、市民に学習の場を提供することを目的として設立。現在残されている貴重な史料は、経年による劣化や破損、散逸の危険性が増えていく。それに伴い、保護して後世に残すべき史料は少しずつ増加すると思われる。また、子ども歴史科学体験教室については、一定の参加者がある。平成26年度より10836合志市郷土・歴史資料館維持管理事業を統合。平成28年度より、両資料館を合志歴史資料館に統一し、西合志郷土資料館を合志マンガミュージアムにリニューアルする準備を進めている。
【業務の流れ】	収蔵資料の収集、研究、資料作成、展示物および収蔵資料の保管・公開、資料の寄贈・寄託受入れ、市史編纂資料の収集・作成、郷土史学習講座講師、体験教室・企画展の開催。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需用費(消耗品費)
【意見や要望】	活動の周知や内容の充実を図り利用促進を望む意見が出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	②ふるさと探訪まちめぐりバスを実施。 ③郷土資料の収蔵 ④子ども歴史・科学体験教室を実施。	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ◎ふるさと探訪まちめぐりバス ◎資料館統合による新しい展示内容の検討 ◎郷土資料の収蔵・展示・収集 ◎子ども歴史・科学体験教室 ◎郷土・歴史資料館資料の適正な管理、資料収集等 ◎郷土資料館と歴史資料館統合の為の調査・準備
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)点 →ア:展示資料数 イ:講座開催回数	予算の主な増減の理由 光熱水費や委託料等の施設維持管理に係る費用をマンガミュージアム維持管理事業(11721)への組替による減額
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民	(単位)人 →ア:人口 イ:	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 郷土史を学ぶことができる	(単位)人 →ア:来館者数 イ:	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 より多くの市民に郷土の歴史について知ってもらうため。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
①活動指標	ア	点	300	300	300	300	250	250	250	250
	イ	回	11	9	10	7	11	11	11	11
②対象指標	ア	人	59,067	60,008	60,100	0	60,900	61,500	62,000	62,500
	イ									
③成果指標	ア	人	7,786	6,627	9,700	1,629	4,500	4,500	4,500	4,500
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	306	77	20	22	20		
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	2,621	2,633	2,922	2,617	2,015	2,876	2,876
		(A)事業費計	千円	2,927	2,710	2,942	2,639	2,035	2,876	2,876
		(A)のうち指定経費	千円	1,920	1,920	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	1	2	1	2	2	2
延べ業務時間	時間	765	25	600	550	0	0	0		
(B)人件費計	千円	3,047	92	2,390	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,974	2,802	5,332	2,639	2,035	2,876	2,876		

事務事業名	合志市郷土・歴史資料館運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 年度当初から、地震による被災とマンガミュージアムへのリニューアル工事で休館していることにより、入館者数が予定数を下回ったため。
	②29年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 地震被災の復旧工事が終了するのが次年度中であるため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 これまで両館とも、旧町の歴史しか扱っていなかったが、今後は市としての歴史を市民に対し、わかりやすく展示することで来館者数を向上させる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 開館予定のマンガミュージアムと歴史の分野などで連携を図ることができる。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の経費で運営しているため、削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、必要最小限の人件費で運営しているため、削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 資料館は無料で誰もが来館し、歴史や文化を学ぶことができる教育施設であるため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の文化・歴史に関わる資（史）料を収集・保管・管理することは市の勤めである。

3 評価結果の総括 (CHECK)

講座によっては、参加者の人数にばらつきがあるため、より多くの市民に歴史に親しんでもらうために、内容の見直し等も常に考えていく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						